

# 学校評議員会議録

開催日時	令和8年2月18日（水）16：00～17：00		
会場	北海道札幌東高等学校 校長室		
出席者数	学校評議員 3名	学校職員	6名
出席者名	武田 奈津子 酒井 誉介 小笠原 史佳	校長 須藤 克志 副校長 高橋 昌宏 全日教頭 天野 潤也 定時教頭 渡邊 宏重 事務長 平澤 公子 主幹教諭 酒井 葉子	
会議次第・議事内容			
<p>1 開会</p> <p>2 校長挨拶</p> <p>3 本校教育活動</p> <p>(1) 全日制概況説明（全日制教頭）資料の通り</p> <p>(2) 定時制概況説明（定時制教頭）資料の通り</p> <p>4 評議（感想、質問等の交換）○ 評議員から ● 本校職員から</p> <p>○小田原 シンカプロジェクトで生徒が変わってきたものは？中期的な見込みは？教育相談の課題は？定時制の行事の参加率はどうか？</p> <p>●校長 ・生徒会通信、図書館のお活動、海外研修等に積極的に参加している。 ・職員の意識も新たな挑戦を試みている。 ・1年かけて東高スタイルを確立していき、進路実績につながるようにする。</p> <p>●酒井 ・相談件数は、216件、オンライン授業16名を実施している。</p> <p>●渡邊教頭（定時制） 満遍なく参加し、楽しんでいる。</p> <p>●副校長 ・探究の時間を充実させている。石狩地区で選ばれ、全道大会出場をしている。</p> <p>○酒井 ・シンカプロジェクトが分かりやすい。これからの成果が楽しみ。 ・キャリアトークが素晴らしいので、今後継続してほしい。南高のゼミが表彰されているので、それに匹敵している。今の東高のレベルが高い。キャリアトークを継続すると相乗効果がある。 ・真面目なイメージだが、行事等エネルギーで、勉強面でも伸びていく。 ・メンタル面が心配。教育相談、しっかり対応していて良いと思った。定時制の生徒のメンタル面が心配、自己肯定感を高校生から持たせるのは、大変なことだが、まだ10代、先生方の言葉がけをお願いしたい。途中退学の生徒へも励ましの言葉をかけてほしい。</p> <p>○武田 ・キャリアトークが多岐にわたり素晴らしい。これから、生徒達が卒業し、良い循環になっておくとと思う。テレビ朝日の小松アナウンサーを呼んでほしい。 ・シンカプロジェクトが世間にもっと浸透していけば、よりよくなっていくと思う。須藤校長の後も継続する課題があるのではないかと思う。 ・様々な企画に参加している生徒が、発信技術に長けているので、大人の影響を受けてますます成長しているのだと思った。高校生が新聞に載る機会が増えている。 ・定時制は、校内外の授業のバランスが難しいと思う。生徒の心のケアは永遠の課題であると思うが、先生方とのふれあいが、今後の人生の足がかりになれば良いと思う。生徒を見捨てないイメージがつくと良いと思う。楽しむ枠をなくさないでほしい。登下校でみかけるが、非常にかわいい。</p>			

- 校長
  - ・情報発信については、道通信に積極的に掲載した。生徒を使ったSNS等で情報発信を行っていきたい。
- 武田
  - ・海外が、欧米だけでなくアジア圏にも広がっていて素晴らしいと思う。海外の方が、漫画等で日本語を習得していることをお手本に我々も海外の言葉を独学で勉強するツールが思いつかない。
- 校長
  - ・異文化交流が大切。今後アジアに広がっている。アジアに行った生徒が、積極的な生徒がたくさんいて刺激になった体験をしてる。カルチャーショックを受けてきたようだ。
- 酒井
  - ・海外の生徒と交流することで学習の意欲が高まるのではないか。日本人は、学習意欲が海外の方に比べると低いのではないか。好奇心が低いのではないか。これからは、ブルーカラーになりたい大卒が増えているというニュースを見て、人にしかできない仕事の重要性が感じられる。受容と供給のバランスが変わってきている。
- 武田
  - ・技術職の勢いがこれから上がってくるかもと考えた時、ますます自分の生き方を考えるきっかけになる。
  - ・シンカプロジェクトのブランディングが素晴らしい。
  - ・チカホ等にシンカプロジェクトのPRをしていけたらと思う。
- 校長
  - ・今後もシンカプロジェクトをアピールしていく。

5 連絡事項など

6 校長挨拶

7 閉会

上記のとおり会議を開催した。

令和8年2月19日(木)  
北海道札幌東高等学校長 須藤克志